

# 会 議 録

会議の名称	令和5年度第2回小金井みんなの給食委員会会議録
事務局	学校教育部 学務課
開催日時	令和5年9月19日（火）午後1時30分～午後3時03分
開催場所	小金井市立緑中学校 会議室
出席委員	佐藤委員、宇野委員、大藏委員、菅野委員、大森委員、渡辺委員、櫻井委員、齊藤委員、蜂委員、植田委員、小玉委員、佐藤委員、金川委員
欠席委員	内田委員、田原委員、松田委員、川上委員
傍聴者	0人（学校での開催のため傍聴なし）
会議次第	(1)一言コメント (2)教育委員会からの報告 (3)講演会について (4)次回の開催について (5)その他
主な意見等	(1)一言コメント 新しく委員になった方との挨拶も兼ねて、自己紹介と会議前に行われた試食会に関するコメントを各委員が行った。  (2)教育委員会からの報告 （事務局） 物価高騰による影響により、保護者負担を増やすことなく、これまで通りの栄養バランスや量を保てるよう、各学校が管理する学校給食費に昨年度と同様に補助を行うこととした。補助対象は、給食を食べる児童・生徒の食材費であり、補助額は、小学校は1食当たり41円、中学校は49円である。対象期間は、令和5年7月1日から令和6年3月31日までとなる。 （委員） 食材の価格はどのように決めているのか。年度途中で変え

られるのか。

(委員)

各学期、栄養士会で業者を選定し決めている。

(委員)

委託業者が食材を調達しているのではないのか。

(委員)

委託は調理業務だけであり、食材は栄養士が手配している。

(委員)

補助は今年度だけなのか。物価高騰は厳しいと思うが。

(事務局)

国の補助金を活用した今年度の補助となる。来年度以降については、別の検討が必要となる。

(会長)

補助なしだと非常に厳しく、栄養士も苦慮していた。今回の補助があったことで、ようやく安定した給食の提供ができているのが現状ではある。

### (3)講演会について

(委員)

市内農家の萩原氏を講師に迎え、令和5年11月22日の午後3時～午後4時40分に萌え木ホールで開催する。前半講演の後、小グループに分かれて意見交換と質疑応答を行う。なお、講師のご厚意で、参加者には萩原氏の畑で開催されるジャガイモ掘りイベントの先行申込みが可能となる。

告知方法は、市報、市HP、市SNS、スクールメール、市内ちらし設置を考えている。

申込みは、昨年度同様学務課へお願いしたい。

アンケートは、昨年度の項目に、「小金井の野菜が給食で使われていることについて、家庭で話題にしたことがありますか?」「小金井の野菜の購入頻度は月に何回程度?」も加えたい。

特に今回、申込方法と新型コロナウイルス感染症の対策について、皆さんにご意見を伺いたい。

(委員)

会場の定員は何人か。

(事務局)

定員は、萌え木Aが66人でBが30人だが、小グループに分かれる場合は、もっと少ない人数で行うのが一般的である。

(委員)

ジャガイモ掘りは有料ではないか。

(委員)

実費がかかるが、市のイベントではないので、当日希望者にお伝えする形を考えている。

(会長)  
人数はどうするか。

(委員)  
上限を超えたら抽選とする。

(委員)  
申込み方法はどうするか。

(事務局)  
昨年度は電話受付だったが、ネット上での申込みを検討する。

(委員)  
幅広い年齢に応じた複数の方法があるとよい。

(会長)  
複数の方法について、宇野委員と事務局で検討してもらいたい。周知の方法については、スクールメールは可能だと思うが、市内のちらし設置はどのようなイメージか。

(委員)  
委員の知り合いのお店などを考えている。

(会長)  
そのあたりは委員の皆さんで情報を共有しながらやっていただきたい。

(委員)  
市の掲示板は使えないか。

(事務局)  
市民掲示板であれば、委員の皆さんで自由に貼っていただくことができる。

(会長)  
新型コロナウイルス感染症の対応だが、マスクは任意が基本となっていると思う。

(委員)  
個人的にはスタッフも任意にしてほしい。

(委員)  
受付だけはマスクしていた方がよいと思う。

(会長)  
スタッフもマスクは任意であるが、マスクする予定の委員を受付に配置するなどの配慮をする形としたい。ほかに、役割分担はどのようにするか。

(委員)  
昨年度同様、司会やパソコン操作以外は、当日決める形で対応する。

(委員)  
これまでの経過は分からないが、4回の会議のうち、1回を講演会にする意味はなにか。

(会長)  
講演会は会議の回数に入っていない。委員発案で行う本委員

会の自主的な活動である。

(委員)

こうした講演会を通して、市民の皆さんに給食について考えてもらったり、指針について知っていただく機会を提供するのも会の役割であると思う。

あと失念していたが、講演会で給食のレシピを配布したいが、栄養士の皆さんにご協力いただけないか。

(委員)

レシピの提供については、栄養士会などで確認が必要であり、可否の即答はできない。

(会長)

校長会でも確認をとる必要があるため、スケジュール的に難しい。

(委員)

今回は無理にレシピ集がなくても良いと思う。

(会長)

レシピ集の案はとても良い案ではあるが、スケジュール的に難しいので、次回以降活用できればと思う。

(委員)

周知におけるちらしの印刷代は市で出せないか。

(事務局)

大量配布は難しい。可能な範囲で協力はしたいと思うので、具体的な話が出た際に調整させていただきたい。

(会長)

これまで決まったこととして、準備や委員の配置は講演会担当の委員に調整していただき、告知方法はスクールメール等で学務課を通じて応募していただく。あとは、定員と抽選についてを決めたい。

(委員)

昨年と同様、応募期間を設け、抽選する形でどうか。特にこだわりはないが。

(事務局)

先着の方が分かりやすいが、抽選の方が良いか。

(会長)

学校でメールを送る形であれば、抽選の方が良い。

(委員)

周知媒体によって、そのタイミングがずれるため、抽選の方が公平だと思う。

(会長)

では抽選として、学務課に検討いただきたい。ほかに決めておくことはあるか。

(事務局)

講演会で配布予定の「こがねい庭先直売所マップ」の在庫がないため「小金井このまちガイド」で代用したい。

(委員)

問題ない。地場野菜の直売所に関する市HPのQRコードを当日会場に掲示したい。

(事務局)

定員はどうか。小グループの構成にもよってくると思う。

(会長)

ファシリテーターを委員の誰が行うかにもよると思う。

(委員)

そのような役割を担うとは聞いていない。

(委員)

意見をまとめるようなワークショップのファシリテーターのような役割ではなく、小グループで出た意見を発表する程度の役割であり、問題なくできると思う。

(会長)

定員は多くても40～50人程度ではないか。

(委員)

定員は50人で良いと思う。

(事務局)

対象者は、市外の方も含めるのか。

(委員)

保護者を優先募集し、定員に達しない場合には、市外の方も含めた一般枠を募集する形とする。

(会長)

それでは、これまで決まったことをもとに、細部は講演会担当の委員を中心に事務局と調整して準備を進めていただくことでお願いしたい。

#### (4) 次回の開催について

(事務局)

会議ではないが、11月に講演会が予定されている。集合等に関してはまた別途連絡する。また会議の開催は未定であり、決定したら連絡させていただく。

#### (5) その他

(委員)

全校の給食室へ早期にエアコン設置を要望したい。

(委員)

委員会はあと何回あるのか。

(事務局)

今年度は議題次第であるが、あと2回程度予定している。

(委員)

議題はどのようなものか。

	<p>(事務局)  確定していないが、講演会の振り返りなどを予定している。</p> <p>(委員)  私の考えていた委員会とイメージが違っている。農家・栄養士・調理員などそれぞれに対し、市民の視点で給食をよくする方法について考える場とすることはできないか。</p> <p>(会長)  みんなの給食委員会の会議の場で給食に対する意見を出すことはできる。その意見をもって変わるとは限らないが、こういう意見をもった市民がいるということを行うことはできると思う。方法については、一度事務局に検討してもらいたい。</p>
決定事項	<p>(3)講演会について  日時、場所、内容、告知方法、募集方法、募集対象者、配布物、委員の役割、新型コロナウイルス感染症への対応について決定した。開催準備については、担当委員が事務局と相談の上進めていく。</p> <p>(5)その他  会議で給食に対する意見を出す場を設けることについて、事務局で案を検討する。</p>
次回の開催	未定